

第5章 計画の推進と振り返り

1 推進と振り返りの仕組み

(1) 推進

ア 地区別計画

各地区で設定する地域のプラットフォーム（3ページ参照）において、定期的に具体的な取組の進捗状況の確認や目標達成に向けた取組内容の検討などを行います。年度ごとに取組を振り返り、それを踏まえ、次年度の取組の進め方を決定します。

イ 区全体計画

区役所・区社協・地域ケアプラザ等において、基本目標ごとに定めた具体的な取組を進めます。年度ごとに、取組状況を振り返り、計画推進の課題やその対応策、次年度の進め方などについて検討します。

ウ 西区地域福祉保健計画推進・評価委員会

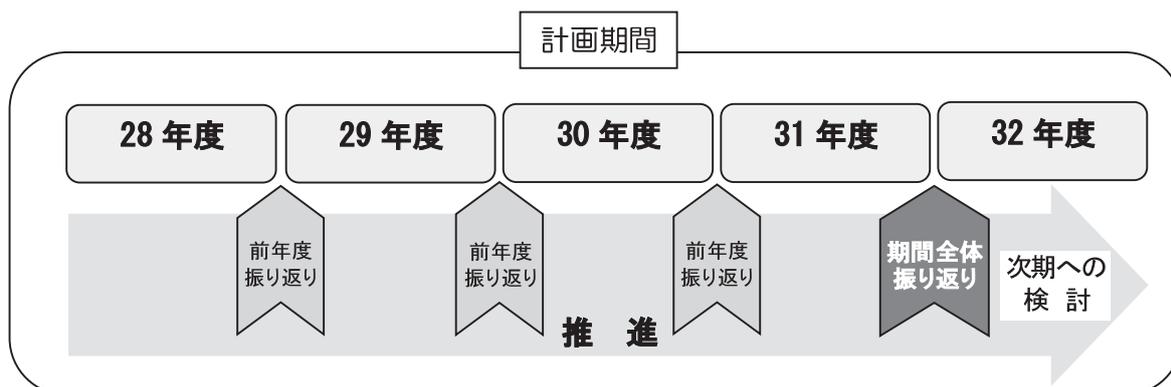
「西区地域福祉保健計画推進・評価委員会」において、各年度、取組の振り返りの内容、計画推進上の課題、次年度の取組の進め方などを報告、共有します。委員からの意見を参考に、さらにそれぞれの取組の充実、推進を図ります。

(2) 振り返り

平成 28 年度から 32 年度の計画期間中、各計画推進主体は年度ごとに取組の振り返りを行います。その結果を踏まえ、目指すべきまちの姿に少しでも近づけるために、次年度の取組をどのように進めるべきかを検討していきます。

なお、計画最終年度である平成 32 年度には、次期計画を策定する必要があることから、計画期間全体の振り返りを平成 31 年度に行うこととします。

毎年度、振り返りを行ってきた計画推進主体ごとに、計画期間全体を振り返り、期間中の取組の進捗状況、推進の成果などについて確認を行います。また、区民意識等について把握するための区民アンケートなどを実施します。それらを取りまとめ、西区地域福祉保健計画推進・評価委員会に報告、意見をいただいた上で、期間全体の振り返りとなります。振り返りの結果については、第 4 期の計画策定に生かしていきます。



② 推進のための支援

(1) 区役所・区社協・地域ケアプラザの役割

区全体計画に位置付けられたそれぞれの取組を進めるだけでなく、連携して計画全体の推進を支援する役割を担います。

特に区役所・区社協・地域ケアプラザで構成する地区支援チームが、地区別計画推進をはじめとする地域の主体的な課題解決の取組を支援します。

具体的には地域データや他地域の取組事例といった地域活動に関する情報のほか、助成金やアドバイザー派遣等、地域で活用できる支援制度の情報を収集し、提供します。また、各種関係団体との連携を強化し、個人と団体、団体どうしの活動をコーディネートすることで、活動者を増やし、活動の幅を広げていけるよう支援します。

また、区社協を中心に、「にこまち トライ プロジェクト (NTP) 」(10 ページ参照) の活動を推進していきます。

(2) 情報共有・発信の場づくり

計画の推進状況や地域活動事例などについて情報発信、情報共有できる場をつくり、それぞれの活動に生かします。

(3) 財政面の支援

区社協の助成制度「にこまち助成金」で、にこまちプランの推進に関わる取組に対して、資金面の支援を行っていきます。そのほか、活動内容等に応じて、「西区社協ふれあい助成金」「西区地域のつながりを育み強める補助金」なども活用します。